



# 新吉田

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/shinyoshida>

横浜市立新吉田小学校

## かかとの絆創膏

校長 関谷 道代

4月に入ると、新入社員らしき人を見かけるようになりました。慣れないスーツを着て、ぎこちなく歩く姿を見ると、なんだかこちらまで緊張してしまいます。足元を見ると、慣れないパンプスのせいでしょうか。かかとの絆創膏が貼られていました。はきなれない靴に合わせようとする痛々しさから、新しい環境に何とか慣れようと頑張る姿が伝わります。見ず知らずの若者ではありましたが、「がんばって」と応援したくなりました。

横浜市においては、4月3日（月）、830人以上の初任者が辞令交付式に参加し、緊張した面持ちでそれぞれの勤務先に向かいました。また、学校を異動した先生方もおられます。

初めて異動した日のことを思い出します。その頃の私は、忙しそうにしている先生方に、なかなか声をかけることができず、慣れない環境になじむタイミングがつかめませんでした。

「紙ごみはどこに捨てればいいのか」・・・間違えて捨てたら悪いし、わからないから、スーツのポケットに入れて持ち帰りました。「ポットのお湯は使っているのかな」・・・仕方なく、水を飲んで過ごしました。

そんな私に気が付いてくださった先輩の先生が教えてくれたことを思い出します。

・・・『たずねる』『たのむ』『たすけを求める』の3つの『た』（サンタ）を使いなさい」と。

① たず（尋）ねる

「この教材は、どこにありますか」「こんな時、この学校ではどうしているのですか」  
どんどん聞いてください。

② たの（頼）む

「ここまでやってみたのですが、あとはわからないのでお願いします」  
頼むことも時には必要です。

③ たす（助）けを求める

さすがにこれは難しいな、と思ったら学年主任や管理職に相談して、助けてもらいなさい。  
時には、保護者に協力をお願いしてもいいですよ。

本校には、大学を卒業したばかりの初任の先生が、臨任を含めて5人着任しました。学年主任は全体を俯瞰する力を発揮します。隣のクラスには、ちょっと年上のお兄さんお姉さんのような立場の先生がメンターとして初任者を育てる人事組織・教室配置になっています。また、5・6年生には学年主任が気付かないところを支えるチームマネージャーがいます。「拠点校指導教員」「サポート非常勤」「YTサポーター」は直接初任者にかかわります。授業を通して児童理解が多面的になるよう3～6年生は英語専科、3年生は音楽専科が加わりました。低学年にはアシスタント・ティーチャーや支援員を配置。このように令和5年度は、「初任者をみんなで育てる」学校に大きく舵を切りました。

教師への夢をもち、夢をかなえる第一歩を踏み出す先生方はもちろんのこと、異動してきた先生も子どもも保護者の方々も地域の方々も「たずねる」「たのむ」「たすけを求める」を遠慮なく言える関係性を大切にしたいです。学校は遠慮なく「サンタ（3た）のお願い」を使います。

今年度も、どうぞよろしくお願いします。

街で見かけた若者も、季節外れの「サンタ（3た）」からの贈り物を使って、かかとの絆創膏が取れることを願いつつ。